

亜細亜大学 7号館A館



外観

学校法人亜細亜学園は、1941(昭和16)年に財団法人興亜協会を前身として設立。今回トイレ改修された7号館は、武蔵野キャンパス南門に隣接する教室棟である。



トイレ入口

黄緑色のアーティスティックな図案が施された壁紙が、清々しい印象を与えるトイレ入口。



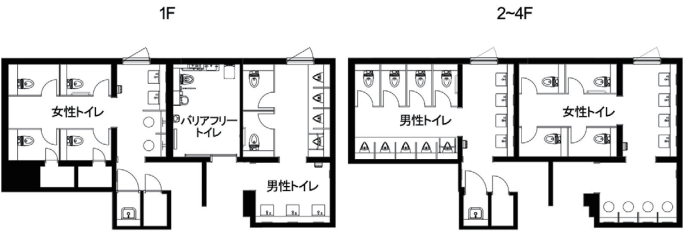
男性トイレ

大きな窓から光が差し込み、明るい木目とグレーでコーディネートされたトイレ空間。洗面コーナーの鏡の黒枠が空間を引き締めるアクセントになっている。



トイレ図面

4Fの男女トイレの中に設置されていたバリアフリートイレを、校舎外からもアクセスしやすい1Fに移設。男女トイレの大便器は、利用頻度の低かった和式便器をなくし、すべて洋式便器に変更した。



水まわりの特長

改修の経緯

「学校法人亜細亜学園」は、1941(昭和16)年に財団法人興亜協会を前身として設立。建学の精神「自助協力」に基づき、アジアの未来に飛躍する創造的人材の育成を使命とする私立大学。2011(平成23)年より建物の築年数や学生のアメニティの向上などを考慮し、「武蔵野キャンパス再開発」として教室棟や学生食堂の建て替えを順次実施。1号館、5号館、ASIA PLAZAが完成している。一方、建て替え計画に入っていない建物内には、和式便器の残る老朽化したトイレが存在していたため、キャンパスアメニティの向上を目的として2020(令和2)年より順次改修を実施。3号館と7号館B館に続いて、使い心地への配慮、感染症対策、環境配慮などをコンセプトに、2022(令和4)年3月に7号館A館のトイレ改修が完了した。

トイレの特長

トイレがリフレッシュの場となるような空間を目指して、改修を実施。内装は明るい木目を基調とし落ち着いたグレーの配色の中に、壁紙やスタイリングコーナーのツールなどでアクセントをつけた。全般に環境や衛生面に配慮した器具を選定。バリアフリートイレは、車いす使用者、お子様連れ、性的マイノリティなどの使用を想定した設備やサインが採用した。また、男女トイレの大便器は、利用頻度の低かった和式便器をすべて洋式便器に変更し、荷物の多い学生や体格の大きな学生も使いやすいようにブースのサイズを広めに確保。さらに女性トイレのスタイリングコーナーは、お化粧直しをしながら学生同士のコミュニケーションもとれる空間にもなっており、さまざまな人が快適に使用できるよう配慮されている。

建築概要

名称	亜細亜大学 7号館A館
所在地	東京都武蔵野市境5-8
施主	学校法人 亜細亜学園
設計	東急建設株式会社 一級建築士事務所
施工	建築 東急建設株式会社
設備	東急建設株式会社
竣工年月	(改修)2022年3月
敷地面積	33,709.55㎡
建築面積	2,029.55㎡
延床面積	6,320.13㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地下1階、地上4階

おもなTOTO使用機器

フラッシュバルブ式便器:C743PVN
ウォシュレット アプリコットP(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5830YS
ウォシュレット アプリコットP(温風乾燥付きエコリモコン):TCF5840AUP系
化粧棚:YKH50A／チャームボックス(汚物入れ):YKB102
自動洗浄小便器:UFS900R／壁掛ハイバック洗面器:LSA135AD
自動水石けん供給栓:TLK06S01J／クリーンドライ(ハンドドライヤー):TYC420W
コンパクトバリアフリートイレバック:UADAK21R1A1ADD1WA
フィッティングボード:YKA41R／パブリック用手すり:T112CL9、T112CU22



女性トイレ 洗面コーナー

洗面器は男女トイレともにシンプルなデザインで、水じまいのよい壁掛ハイバック洗面器を採用。水栓金具は、非接触で利用できる自動水栓と自動水石けん供給栓「オートソープディスペンサー」を設置している。



女性トイレ
スタイリングコーナー



シッティングタイプのスタイリングコーナーは、お化粧のしやすさに配慮して顔全体に照明が均一にあたるよう設計されたLED照明付鏡とコンセントを設置。階ごとに異なる色の椅子を配置し、印象を変えている。



女性トイレ
大便器コーナー

大便器ブースは間仕切り壁を天井まで立ち上げ、防犯対策を図っている。ウォシュレットは衛生面に配慮して、ノズルをきれいに保つことができる「きれい除菌水」機能を備えた、ウォシュレットアプリコットPを設置。



男性トイレ
小便器コーナー・
大便器ブース

小便器間の仕切りは、プライバシー配慮として隣人の視線を気にせずに見える高さを検証して設置。また、さまざまな利用者を想定し、各トイレの大便器ブースの1ヶ所にはL型手すりを設置している。



女性トイレ
洗面・
スタイリングコーナー

すっきりとした空間意匠を実現した洗面コーナー。スタイリングコーナーには間仕切りを設置し、手洗いする人や隣人の視線を気にせずにお化粧直しができるよう配慮している。



バリアフリートイレ

バリアフリートイレは、車いす使用者がゆとりを持ってトイレ内で回転できるスペースを確保。さまざまな利用者に対応できる設備を完備し、入口にはその配慮内容がひと目でわかるサインを表示している。